

# 血液内科

## 1. 診療科の概要

当科では、内科学全般に関する幅広い知識や技術のみならず、血液病学に関する専門的な能力も有する内科医の育成を目指している。診療では、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病など血液悪性腫瘍や、各種の貧血性疾患、血小板減少・増多症、凝固線溶異常などの血液疾患やHIV感染症を担当している。診療体制は、臨床研修医、診療医および指導医からなるチームを構成し、血液疾患の確定診断や治療計画の立案まで十分な検討をおこなうとともに、好中球減少期の全身管理を含めた医療を実践している。

先端医療として、遺伝子診断などを積極的に取り入れる他、新規分子標的薬を併用した化学療法の他、自家および同種造血幹細胞移植を行っている。

## 2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：小船 雅義

指導医：小船 雅義、井山 諭、堀口 拓人、後藤 亜香利

## 3. 研修担当者

氏名：堀口 拓人

連絡先：horiguchi.hiroto@sapmed.ac.jp

## 4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：9時00分

集合場所：北病棟10階 ドクターズルーム

## 5. 到達目標

- ・ 下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。  
＜貧血、体重減少、発疹、発熱、頭痛、めまい、呼吸困難、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘異常（下痢・便秘）、腰・背部痛＞
- ・ 下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。  
＜急性白血病、慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、貧血、血小板減少症、白血球減少症、肺炎、HIV感染症＞
- ・ 骨髄穿刺・生検ができる。

## 6. 研修内容

### (1) 回診とカンファレンス

- ・ 月曜日午前に総回診を週1回行い、各指導医が患者の総合的な診察法について指導する。
- ・ 月曜日午後に症例検討会を行い、入院患者について病態、診断、治療法等の検討を行う。
- ・ 入退院カンファレンス・外来患者カンファレンスを月1～2回行う。
- ・ 毎週木曜日に骨髄検査実習を行う他、適時、血液・骨髄鏡検カンファレンスを行う。
- ・ 毎週金曜日に造血幹細胞移植カンファレンスを行う。

(2) 研究会

- ・国内外の一流医学雑誌の臨床に関するもの（クリニカルジャーナルクラブ：CJC）と、研究に関する抄読会をそれぞれ週1回ずつ行う。
- ・年数回、国内外からの講師を招いて、セミナーを開催する。

7. 研修医の主な業務

- ・診療チームの一員として担当患者を受け持ち、病棟回診およびカンファレンスに参加。指導医とともに患者の診断・治療方針を立案し診療に参加する。担当患者のサマリーを記載し、指導医の確認をとる。
- ・各研修医の希望に合わせて4週間-8週間単位で研修する。検査手技に積極的に参加し最終的には自身で実施することを目標とする。具体的には骨髄穿刺、PICCの挿入、CVの挿入の実施を目指す。
- ・クリニカルジャーナルクラブに参加し、臨床論文やガイドラインを参照した診療を行い、evidence-based medicine (EBM) を習得する。また自身が発表者として、プレゼンを担当する。
- ・適切な症例が当たった場合は、地方会、全国会で学会発表を行う。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		病棟	総回診	病棟		病棟			机上回診			
火		病棟	回診	病棟		病棟						
水		病棟	回診	病棟		病棟			ケースカンファ			
木		病棟	回診	病棟		病棟	骨髄穿刺	病棟	CJC			
金		病棟	回診	病棟		病棟			移植カンファ			

CJC:クリニカルジャーナルクラブ

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医機構基本領域専門医資格

- ・内科専門医

10. 研修協力施設

- ・たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）  
東札幌病院、製鉄記念室蘭病院、王子総合病院、旭川赤十字病院
- ・短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）  
函館赤十字病院